

令和7年度数理・データサイエンス・AIリテラシー教育プログラム実施状況

学部	学科・課程	1年次 学生数	授業科目	単位 数	講義 番号	開講 学期	受講 者数	単位修得者 数	単位 修得率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
										第1ターム		第2ターム		第3ターム			第4ターム							
教養学部	教養学科	182	データサイエンス 入門	1	F00301	第3	198	174	87.9%							金2	→							
			情報基礎	2	F00300	第1・2	197	183	92.9%	金2	→													
経済学部	経済学科 (昼間コース)	313	データサイエンス 入門	1	A01701	第3	183	168	91.8%							水1	→							
						A01702	第4	172	158	91.9%							水2	→						
			経済情報リテラシー	2	A01601	第1・2	80	71	88.8%	月2	→													
					A01602	第1・2	80	69	86.3%	月3	→													
					A01603	第1・2	79	71	89.9%	月4	→													
					A01604	第1・2	74	68	91.9%	月5	→													
A01605	第3・4	40	29	72.5%										金2	→									
教育学部	全課程	398	情報基礎	2	Y70001	第1・2	122	112	91.8%	木1	→													
					Y70002	第1・2	95	93	97.9%	木1	→													
					Y70013	第3・4	116	105	90.5%															
					Y70014	第3・4	100	97	97.0%															
理学部	全学科	244	数理データサイエンス 基礎	2	R19400	第1・2	90	78	86.7%	水2	→													
					R19410	第3・4	67	61	91.0%															
					R19420	第3・4	91	87	95.6%															
工学部	全学科	526	理工学と現代社会	2	RT9001-1	第1・2	319	303	95.0%	金3	→													
	全学科		工学入門セミナー	2	RT9001-2	第1・2	259	235	90.7%	金5	→													
	機械工学・システ ムデザイン学科	438	情報基礎	2	TX67109	第2	121	117	96.7%				月4・5											
	電気電子物理工 学科				TX67110	第1	128	106	82.8%	火5・木5														
	応用化学科				TX67112	第1・2	107	102	95%	金4	→													
	環境社会デザイ ン学科				TX67114	第1・2	109	101	92.7%	金2	→													
	情報工学科	88	情報工学入門	2	T73015	第3・4	91	87	95.6%															
情報倫理			2	T73300	第3・4	90	89	98.9%																

プログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度 年度

②大学等全体の男女別学生数 男性 人 女性 人 (合計 人)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		履修者数 合計	修了者数 合計	履修率
				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数			
教養学部	790	160	700	203	176	191	172	167	149							540	497	77%
経済学部 (昼間コース)	1,313	280	1,140	352	318	337	296	285	247							932	861	82%
教育学部	1,623	380	1,520	419	402	407	393	394	364							1,198	1,159	79%
理学部	948	210	840	247	222	242	223	215	195							693	640	83%
工学部	2,174	490	1,960	581	516	525	471	500	452							1,542	1,439	79%
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
																0	0	#DIV/0!
合計	6,848	1,520	6,160	1,802	1,634	1,702	1,555	1,561	1,407	0	0	0	0	0	0	4,905		80%

※令和5年度以外の履修者数及び修了者数は過年度入学者で再履修の者を含めた数

※履修者数合計は、令和7年度再履修者を除いた数

令和7年度 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 授業評価アンケート
の確認（リテラシーレベル）

1. 調査概要

実施期間	第1ターム：令和7年5月21日（水）～6月3日（火） 第2ターム：令和7年7月16日（水）～7月29日（火） 第3ターム：令和7年10月31日（金）～11月13日（木） 第4ターム：令和8年1月19日（月）～2月1日（日）
調査対象科目数	講義・演習 24 科目
アンケート種別	① 講義・演習用、②講義・演習用(教育学部)

2. 開講区分別回収率

開講区分	対象科目数	履修者数（※1）	回答者数	解答率
DS教育プログラム合計	24	3553	1928	54%
全体平均(※2)	-	-	-	37%

※1: 累計

※2: 全体平均は実験科目を除いた数値

3. 科目ごとの回答平均値

設問：
Q10. 教員は、授業への学生の参加（質問、発言）を促し、あなたの質問に対して、あなたが分かるように答えましたか。オンデマンド授業の場合には、メールなどによる質問に対して、教員はあなたが分かるように答えましたか。
Q11. この授業は、あなたの思考力を養うため、あるいは専門知識を高めるうえで役立ちましたか？
Q12. 授業は、上記の項目も含め総合的に判断して、満足できるものでしたか。

学部	授業科目	Q10	Q11	Q12
DS教育プログラム平均		4.42	4.44	4.38
全体平均(※2)		4.52	4.50	4.50

※赤地の項目は、中期計画内「教育に関する目標を達成するための措置」【2-1-①】「授業評

価アンケート：総合評価項目の平均値を 4.45 以上」を未達のもの

※2：全体平均は実験科目を除いた数値

4. 自由記述の要約

以下、ChatGPT を用いて Q16, 17 を機械要約した結果を記載する。

学部	授業科目	良かった点 (Q16)	改善してほしい点 (Q17)
教養学部	データサイエンス入門	<ul style="list-style-type: none"> データサイエンスや生成 AI、情報セキュリティなど、現代の情報社会で必要となる知識を幅広く学ぶことができた。 Excel やパソコン操作など、大学生活や社会生活に役立つ実践的なデジタルスキルを身につけることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 受講確認クイズやテストについて、締め切り時間にもう少し余裕を持たせてほしい。 演習課題について、動画・資料・提出内容の説明を統一し、課題内容や提出条件をより分かりやすくしてほしい。
	情報基礎	<ul style="list-style-type: none"> Word・Excel・PowerPoint など、大学生活や社会で必要となる Office ソフトの基礎から実践的な活用方法まで学ぶことができた。 課題や作品制作を通して実際に手を動かしながら学べたことで、パソコン操作や各種アプリのスキルを身につけることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に重要なポイントをより強調して説明し、スクリーンや板書も見やすくしてほしい。 出欠確認や課題提出について、提出条件をより分かりやすく示し、手間も軽減してほしい。 作品の相互評価や授業開始時間について、より円滑で公平な運営をしてほしい。
経済学部 (昼間コース)	データサイエンス入門	<ul style="list-style-type: none"> データサイエンスや AI、ネットリテラシーなど、現代の情報社会に必要な知識や考え方を学ぶことができた。 Excel を中心としたデータ分析や情報活用の基礎スキルを身につけることができた。 身近な事例や社会とのつながりを意識した授業内容で、専門的な内容にも興味を持ちな 	<ul style="list-style-type: none"> 受講確認テストについて、解答期限を延長し、クラス間で回答時間を統一してほしい。 課題説明や演習に関する情報を整理し、提出条件や期限をより分かりやすくしてほしい。

学部	授業科目	良かった点 (Q16)	改善してほしい点 (Q17)
		がら学べた。	
	経済情報リ テラシー	<ul style="list-style-type: none"> Word・Excelの基本操作に加え、レポートや論文の書き方など、大学生活に必要な基礎知識や技能を身につけることができた。 論証型レポートを通して、情報収集や文献引用など、卒業論文にも役立つ力を養うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業や説明の進行速度が速く、情報量や課題量も多かったため、もう少し余裕を持って丁寧に進めてほしい。 授業中の指示の出し方やTAとの連携、質問しやすい雰囲気づくりなど、受講しやすい授業運営にしてほしい。
教育学部	情報基礎	<ul style="list-style-type: none"> 高校で学んだ情報を発展させながら、生成AI・深層学習・情報技術・情報社会などについて幅広く学ぶことができた。 Excelやプログラミング、レポート作成などの演習を通して、大学生活や将来に役立つ実践的なスキルを身につけることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の授業では、進行や説明が分かりにくかったり、出席管理に不備があったりしたため、授業運営や教員間での対応を統一してほしい。 課題や確認テストについて、量や難易度に対して説明や時間的余裕が不足していたため、要点を整理し、分かりやすく説明してほしい。 出席確認とテストは分けて運用してほしい。
理学部	数理データ サイエンス 基礎	<ul style="list-style-type: none"> ExcelやWord、Pythonなどについて、実習を通して基礎から学ぶことができ、苦手意識の軽減につながった。 データ分析やAIに関する基礎知識を学び、今後必要となる実践的なスキルを身につけることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> Pythonや実習課題について、初学者向けにインストール方法や基本操作も含めて、より丁寧に段階的に説明してほしい。 課題や評価基準、出席管理について、指示や採点基準をより分かりやすくしてほしい。 授業運営について、機器操

学部	授業科目	良かった点 (Q16)	改善してほしい点 (Q17)
			作による停滞や聞き取りづらさを改善し、効率的に進行してほしい。
工学部	理工学と現代社会	<ul style="list-style-type: none"> 理工学のさまざまな分野や最先端研究について学ぶことで、自分の専門外にも興味を広げることができた。 技術の活用例や社会とのつながりを知り、理工学が社会で果たす役割について考えるきっかけになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題量やレポート作成の負担が大きかったため、課題内容や評価基準、字数の目安を明確に示してほしい。 専門用語や発展的な内容について、初学者向けの基礎説明を増やし、分かりやすく講義してほしい。
	工学入門セミナー	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな工学分野の講義や実験を体験し、自分の専門外も含めた幅広い知識を得ることができた。 他学科の学生との交流や協力実験を通して、多様な分野とのつながりを実感できた。 実験レポートの書き方や文献検索、知的財産・倫理など、今後必要となる基礎的な技能を学ぶことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の講義や実験で授業時間を大幅に超過することがあり、終了時刻の目安を示した上で時間内に進行してほしい。 班活動の人数設定や解散時間のばらつきなど、授業運営を改善してほしい。
	情報基礎	<ul style="list-style-type: none"> Office ソフト、Python、VBA・マクロなど、大学生活や将来に必要な実践的スキルを学ぶことができた。 課題や演習を通して実際に手を動かしながら学べたことで、プログラミングや Office ソフトへの理解が深まった。 実験や研究、就職後にも活用できる実用的な内容が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業スピードが速く、説明不足のまま課題に取り組む場面が多かったため、特に Python や VBA は初学者向けに丁寧に説明してほしい。 課題量が多く、指示や評価基準も分かりづらかったため、より明確に示してほしい。 資料の早期公開や、声・板書の見やすさ、理解度を確認しながらの進行を改善し

学部	授業科目	良かった点 (Q16)	改善してほしい点 (Q17)
			てほしい。
	情報工学入門	<ul style="list-style-type: none"> 情報工学のさまざまな分野や応用技術について幅広く学ぶことができた。 各分野の課題や歴史、専門的内容について複数の教員から話を聞くことで、理解や興味が深まった。 今後学ぶ専門分野の基礎に触れられたことが有意義だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の講義内容が他授業と重複していたため、内容整理をしてほしい。 授業ごとに説明内容が異なる場面があり、どの情報が正しいのか分かりづらかったため、説明内容を統一してほしい。
	情報倫理	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護やプロバイダ責任制限法などを通して、情報倫理の基本的な考え方や具体例を学ぶことができた。 将来、情報分野を学び活用する上で注意すべき点を考える機会になった。 授業を聞きながら小テストや課題に取り組めた点も良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 話すスピードが速く、理解しづらい場面があったため、もう少しゆっくり説明してほしい。 スライドの情報量が多かったため、要点やまとめを整理して分かりやすくしてほしい。

5. 点検・評価結果

5-1. 学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度

本項目は、「Q10. 教員が授業への参加を促し、質問に対して分かりやすく回答していたか」および「Q11. 思考力の涵養・専門知識の向上に役立ったか」の回答をもとに点検・評価を行った。概ね平均値は4（「ある程度あった」）以上であり、各科目において、教員が授業への参加を促し、質問にも分かりやすく対応していること、また、授業が思考力の涵養や専門知識の向上に寄与していることが確認できた。

令和5年度並びに6年度自己点検においてQ10の平均値が4を下回っていた「数理データサイエンス基礎（理学部）」については、今回4を上回る結果となり、改善が見られたが、他科目と比較すると依然として低い水準にある。自由記述欄「Q17. 改善して欲しい事項」では、「数理データサイエンス基礎（理学部）」に関して、授業の進め方や解説方法に関する意見が多く寄せられた。具体的には、「指示が不明確である」「授業で扱っていない内容が課題として出される」といった、課題負担や実習内容に関する不満が見受けられた。特に

Python 課題については、具体例や解説が不足しているとの指摘が目立った。

次年度に向けては、これらの意見を踏まえ、さらなる授業改善について各担当教員に検討を依頼したい。

5-2. 学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度

本項目は、「Q12. 総合的な満足度」の回答をもとに点検・評価を行った。多くの科目において、中期計画「教育に関する目標を達成するための措置」【2-1-①】で掲げる「授業評価アンケート：総合評価項目の平均値 4.45 以上」を下回る結果となった。ただし、概ね平均値 4（「ある程度満足できる」）以上を維持しており、学生から一定の総合的満足を得られているものと評価できる。

「経済情報リテラシー（経済学部）」については、昨年度の 3.98 から今年度は 4.29 へと上昇しており、改善が見られた。「数理データサイエンス基礎（理学部）」についても、昨年度の 3.54 から今年度は 3.97 となり、改善傾向が確認できたものの、依然として十分とは言えない状況にある。

一方で、昨年度と比較して大幅に評価が低下した科目は見られなかった。このことは、各授業担当教員が授業アンケート結果や学生からの意見を踏まえながら、授業内容の見直し、説明方法の工夫、教材改善、課題量の調整などに継続的に取り組んでいる成果であると考えられる。また、授業実施方法の改善を積み重ねることで、学生の理解度や満足度の維持・向上につながっている点も評価できる。今後も各科目において、学生の意見を踏まえた継続的な改善を進めることが期待される。

6. まとめ

授業評価アンケートの回答から、データサイエンス教育プログラムの点検・評価を行い、改善点について抽出を行った。今後、各担当にて改善点について対処を検討いただき、継続して点検・評価を行っていく。